



病院リレーエッセイ

外來看護師

高岡  
寿明



私は看護学校の時に岡山県に住んでいました。それまで愛媛県から出て生活したことが無かったのですが、新しい土地で住んでいた時の出来事を紹介したいと思います。

岡山で電車に乗って移動し

以来、私もそこではあまり「～わい」って使わなかつた……。というか、みんなから突つ込まれて使いにくかつたのです。が、愛媛に帰つてきて、この方言を聞くとなんかほつとします。

もう1つは仕事で高知県に住むようになり、そこで体験した出来事です。

お酒を飲む時のルール（先輩から挨拶みたいなものと聞きました）があり、それは“返盃（へんぱい）”というものでした。簡単に説明すると、相

なんか喧嘩してるみたいなんだ  
けど」と言つたら、「いや、あれ  
普通の会話じやけ」と言わ  
れました。(岡山の方すみませ  
ん) 友達に「割と癖のある方  
言やね」というと、友達から  
「いやいや、そっちこそ」と、  
私が何気なく使つていた、「行  
つてこうわい」などの、「うわ  
い」、これを他県の方は使わな  
いようで、すごく違和感があ  
ると突つ込まれました。それ

酒が注がれる。自分はそれを一気に飲み干して、相手に空の盃を返さないといけない、というものです。(色々な由来等もあるようですが今回は割愛させていただきます。)私は最初冗談を言つてゐるのだと思いました。たしか一気飲みはアルコール中毒にな



る可能性が高くなるからやめた方がいいと言われていたはず。しかし、医療従事者だろうが誰であろうがそんなことは関係なく、飲むときには返盃のコールが鳴りやまないのが高知。私は新人歓迎会の時にこのルールで撃沈しました(笑)。そんな飲み会のおかげで、お酒を飲むことにも慣れ、お酒を飲む楽しさも学ぶことができましたが、愛媛に帰ってきてみて、やっぱり自分のペースでお酒を飲めるって楽だなーって思います。

話がまとまりませんが、新しい土地では、色々な発見や学びがあつてよかったですけど、久万高原に帰ってきてみるとやっぱり地元が、言葉も生活も自分に合っているのかなと思う今日この頃です。

A large group of approximately 20 people are gathered outdoors in front of a building with a pink facade and a green roof. They are dressed in a variety of costumes, including a yellow superhero-like figure, a person in a white and red patterned outfit, a man in a blue jumpsuit with a white apron, and several individuals in traditional-style yellow and red garments. Some people are holding props like a large circular shield and a wooden staff. The scene is set against a backdrop of green trees and a clear sky.



# ひよっこりほんと ゲゲゲの鬼太郎

久万納涼祭り（久万おどり）に、病院連は職員子供たちを含めた総勢60名弱が参加しました。松木院長演じる「ひよっこりはん」と事務局長演じる「子泣き爺」を筆頭に、原先生の「鬼太郎」と取り巻き妖怪たち。病院連のスペシャルメンバーで構成された妙艶な早踊り隊、そして、よさこい隊とはっぴ隊がしんがりを務めました。

沿道での松木院長のパフォーマンスと役場前での子泣き爺の妙演、メンバーの息の合った踊りで、4位入賞をしました。来年こそは優勝!!

## 今年の病院連は、

1